

令和5年度

嘉麻市立特別支援教育研修

(特別支援教育補助教員・支援員研修)

研修資料

- 研修プロット
- プレゼン資料

福岡県教育庁筑豊教育事務所

栗原 正旨

<令和5年度嘉麻市特別支援教育研修会>

「特別な支援が必要な児童生徒への関わり方」

筑豊教育事務所 指導主事 栗原 正旨

1 本県の特別支援教育の状況

2 特別支援教育補助教員、支援員の役割

3 障がいとは

4 正しい児童生徒理解

5 ぶちテクニック

特別な支援が必要な 児童生徒への支援と関わり



教育庁筑豊教育事務所
教育相談室 栗原 三旨

本日の研修のゴール

本日は研修に参加いただきありがとうございます。筑豊教育事務所の栗原と申します。
特別支援学級に在籍している児童生徒にとって、また、学校にとって補助教員・支援員の先生方は居ていなければならない存在です。日頃の取組に感謝申し上げます。
本日の本研修のゴールを共有しておきたいと思えます。自分の研修の目標でもあります。



本日の研修のゴール

特別支援教育について、次のことをご確認
き、児童生徒たちとの関わり方について一緒
に考えていただけたらと思っています！

- 児童生徒の正しい理解
- 児童生徒との関わり
- 障がいとは…

特別支援教育の視点から児童生徒を捉えること
の大切さを感じていただき、児童生徒のよりよい
成長へ向け、2学期から取り組んでいこう！

本日の研修の内容

- 1 特別支援教育の現状（情報提供）
- 2 特別支援教育補助教員、支援員の役割
- 3 障がいとは
- 4 個に応じた支援の在り方
- 5 ぶちテクニック



本日の研修の内容

インクルーシヴ教育

二次的な問題（二次障がい）

あまり聞きなれない言葉も出てきますが、分かりやすく説明いたします。一緒に学んでいきたいと思えます。



特別支援教育に関する動向

「障害者基本法」の改正 H23. 8. 5

共生社会の形成に向けたインクルーシブ教育システム構築のための特別支援教育の推進（報告）H24. 7. 23

障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律（障害者差別解消法） H25. 6. 26公布

「学校教育法施行令」の一部改正 H25. 9. 1施行

「障害者の権利に関する条約」 H26. 1. 20批准

障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律（障害者差別解消法） H28. 4. 1施行

インクルーシヴ教育について

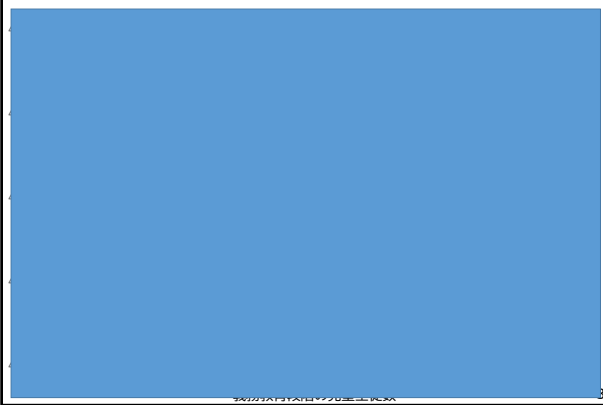
- ① 「共に学ぶ」+「共に育つ」
- ② 「一人一人のニーズに応える」
- ③ 目指すものは、共生社会の実現

【最も本質的な視点】

それぞれの子どもが、授業内容が分かり学習活動に参加している実感・達成感をもちながら、充実した時間を過ごしつつ、生きる力を身に付けていけるかどうか

ニーズに応じた「多様な学びの場」の整備

福岡県における障がいのある幼児児童生徒数 ～義務教育段階の児童生徒数と特別支援教育対象者数の推移～



福岡県における障がいのある幼児児童生徒数 ～義務教育段階の特別支援学校等対象者数の推移～



福岡県における障がいのある幼児児童生徒数
～特別支援学校在籍者の障がい種別(5障がい)の内訳～



障がいのある幼児児童生徒数増加・教室不足への対応

糸島特別支援学校(仮称)新設

障がい種別	部	学校規模	設置場所	開校予定時期
知的障がい	小学部・中学部・高等部	40学級程度	糸島市(泊地区)	令和6年度
肢体不自由	小学部・中学部・高等部			

宗像特別支援学校(仮称)新設

※福岡教育大学敷地内

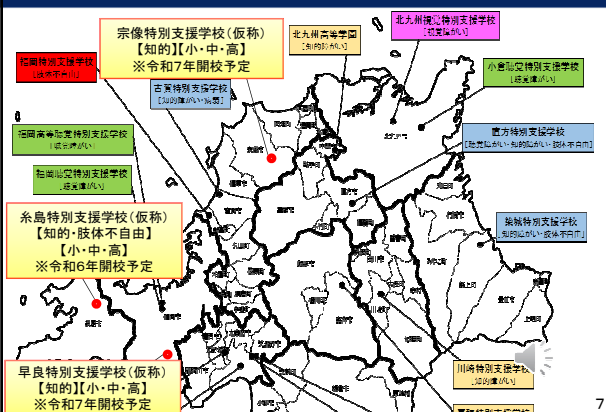
障がい種別	部	学校規模	設置場所	開校予定時期
知的障がい	小学部・中学部・高等部	40学級程度	宗像市	令和7年度

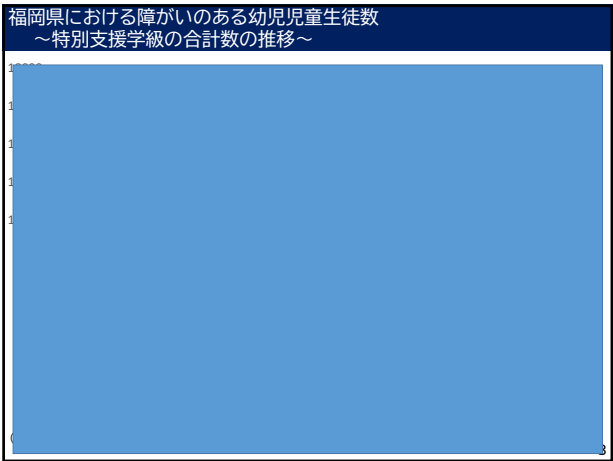
早良特別支援学校(仮称)新設

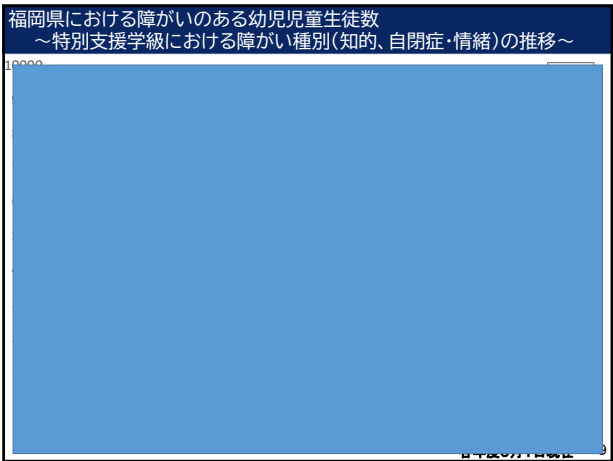
※県立早良高校敷地内

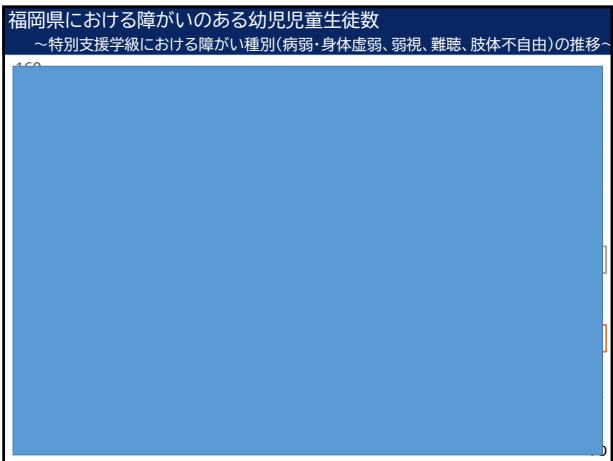
障がい種別	部	学校規模	設置場所	開校予定時期
知的障がい	小学部・中学部・高等部	40学級程度	福岡市早良区	令和7年度

障がいのある幼児児童生徒数増加・教室不足への対応 ～新設3校について～









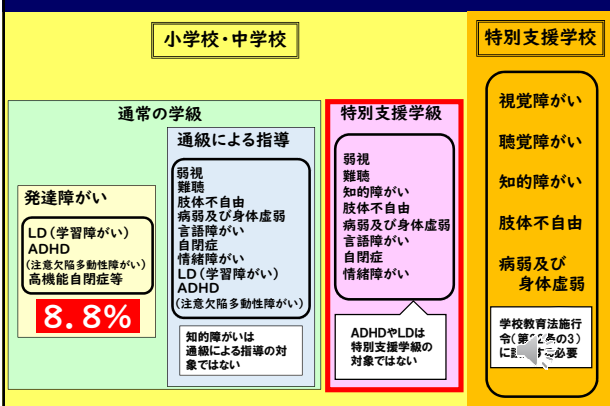
この数値は何を表しているのでしょうか...

8.8%


学習面又は行動面で著しい困難を示す
児童生徒の割合

【通常の学級に在籍する発達障害の可能性のある特別な教育的支援を必要とする児童生徒に関する調査結果】(文科省・令和4年12月)

～特別支援学校、特別支援学級及び通級による指導の対象となる障がいの種類～
【福岡県教育委員会「障がいのある子どもの教育支援と就学事務の手引」(H26.3月)より



児童生徒の心のつぶやきは...



○ 勉強が分かるようになりたい..
○ どう勉強したらいいかわからない..
○ 授業に参加してもつまらない..
○ 早く授業終わらないかな..
○ 分からないままでいいのかな..
○ このままで、高校に行けるのかな..

↓

特性に応じた支援
自分の力でできるようになる支援

補助教員・支援員の役割

何を書けば、いいのかな？

支援

だんだん、書けるようになってきたよ。嬉しいな



できるうれしさ、分かる喜び
成就感や達成感を
味わうことができる



児童生徒に関わる者に
求められること
正しく児童生徒を理解すること、
寄り添うこと



特別支援教育とは

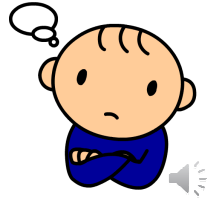
障がいのある幼児児童生徒が自立し、社会参加するために必要な力を培うため、一人一人の教育的ニーズを把握し、その可能性を最大限に伸ばし、生活や学習上の困難を改善又は克服するため、適切な指導及び必要な支援を行うもの



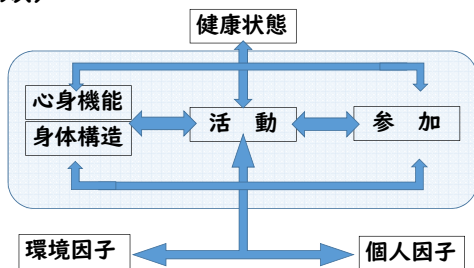
令和5年度「福岡県の特別支援教育」パンフレット（福岡県教育委員会）より

質問です。

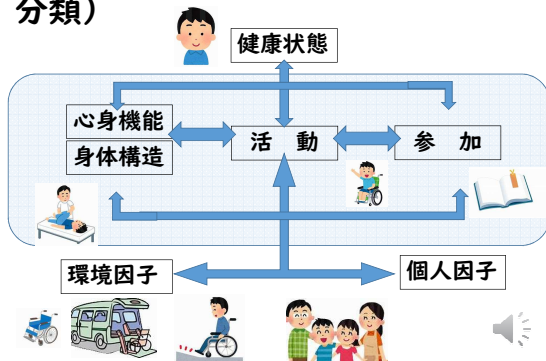
「障がい」とは？



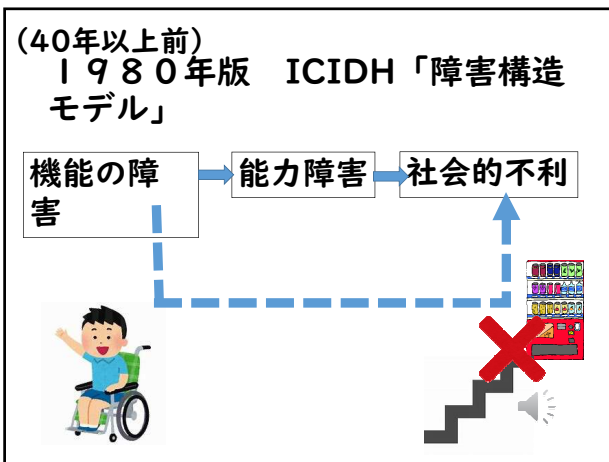
2001年 ICF (国際生活機能分類)

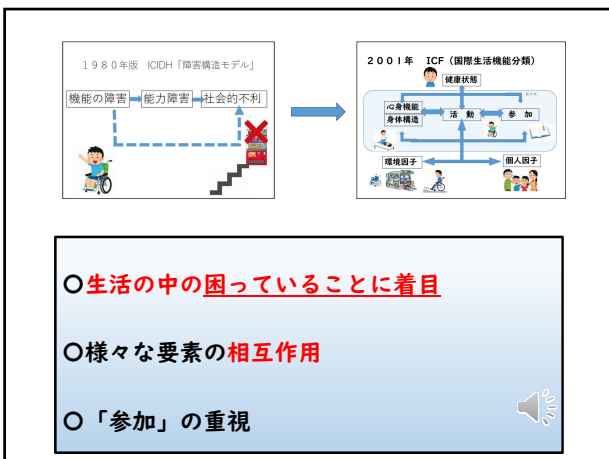


2001年 ICF (国際生活機能分類)









「障がい」とは・・・

環境との関わりで
起こってくる問題

※環境（人的・物的）と
セットで捉える



大切にしたいこと

困っているのは子供たち

「ちょっと手助けがあればできるのに・・・」



Point

「なぜできないのか」から
「どうすればできるか」へ視点を変換

できる（力を発揮する）状況づくり



正しい児童生徒理解について

困難さがよく見られる場面

学 習 面

行 動 面

対 人 面

先天性のもので、育て方や家庭環境に
よるものではない



正しい児童生徒理解について

学習面で見られる困難さ



- 先生の話聞き取れない
- 質問の意図とずれた発言をする
- 文字を見分けられない
- 黒板の文字や図形を書き写せない
- 四則計算や筆算ができない など

特性が招く誤解 ⇒ 努力不足、やる気不足

正しい児童生徒理解について

行動面で見られる困難さ



- 整理整頓ができない
- 忘れっぽく、集中できない
- 必要なものをなくしてしまう
- 考える前に行動してしまう
- しゃべりだすと止まらない など

特性が招く誤解 ⇒ わがまま、なまけてる

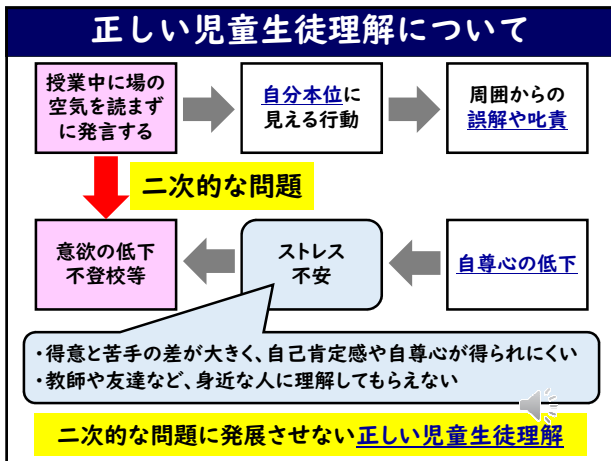
正しい児童生徒理解について

対人面で見られる困難さ



- 暗黙のルールが理解できない
- あいまいな表現が理解できない
- 相手の感情を想像できない
- 特定の物事に強いこだわりがある
- 感覚の過敏性がある など

特性が招く誤解 ⇒ 頑固、空気が読めない



正しい児童生徒理解について

二次的な問題を発生させないために

- 問題となる行動のみに着目せず、**生活全般に目を向ける。**
・問題となる行動をとる必要性を低下させる。
- 指導は**特定の行動を増やす**ことを目標に進める。
「勝手に人のものを借りない」⇒(～しない)×
「借りるときに持ち主に許可を求める」⇒(望ましい行動～する)○
- 短時間でも目的に沿った行動を認める。**
・事後処理的な「だめ」から、**事前予防的な「OK」**へ
- すぐに実行可能な指示・課題を意図的に与えていく。**
- 注意・叱責は**事前通告で「叱られる心の準備」**を促す。

小原正幸「行為障害と非行のことが分かる本」

- ### 正しい児童生徒理解について
- ① 頭ごなしに
 - ② を分かりやすく提示する。
 - ③ 目標を決めて取り組ませる。
 - ④ を工夫する。
 - ⑤ 自分をコントロールするテクニックを身に付けさせる。
 - ⑥ 得意なことを生かし、をもたせる。
 - ⑦ の時間などを配慮した課題を与える。

正しい児童生徒理解について

障がいのある児童・生徒

- 生活・学習における困難さ
- 認知や学習上の困難さ
- 行動上の困難さ
- 社会性等の困難さ

不適切な対応 : 否定的評価、指摘、叱責、制止

二次的な障がい

心理面: 自尊心の低下、不安障がい、対人恐怖、気分障がい等

行動面: 反抗的・攻撃的行動、非行、暴力、行為障がい、ひきこもり、不登校等

学習面: 学習の遅れ

正しい児童生徒理解について

(1) 問題行動の背景

【冰山モデル】

課題となる行動

障がいの特性

環境要因

その他の要因

生理的な要因

関連のある要因

正しい児童理解について

(1) 問題行動の背景

子どもの気になる行動は、「子どもからのメッセージ！」

- 「なぜ、そのような行動をするのか？」
- 「適切な行動を増やす！」

問題の行動をチェック！

- 「いつ？」
- 「どこで？」
- 「誰といるとき？」
- 「何をしているとき？」


正しい児童理解について

(2) 問題行動への対処

「発達障害の子どもを伸ばす魔法の言葉かけ」 講談社

【ABC分析】

- ・ある行動を、前の状況 (A) → 行動 (B) → 結果 (C) の3段階に分けて見る。
- ・その行動がどういう状況で起きたかのかを把握し、よりよい行動にするための対処法を考えていく。

A 前の状況	B 行動	C 結果
こんなときに	こんなことをしたら	こうな 

正しい児童理解について

(2) 問題行動への対処

「発達障害の子どもを伸ばす魔法の言葉かけ」 講談社

A 前の状況	B 行動	C 結果
グループで合奏しているときに・・・	リコーダーを投げたら・・・	先生に注意され、演奏しなくてよくなった。



逃避行動

望んでいた状況の実現【誤学習】

B行動の裏にある考えられる背景

-
-
-



やった！！
とりあえず、演奏しなくてよくなった。

正しい児童理解について

(2) 問題行動への対処

「発達障害の子どもを伸ばす魔法の言葉かけ」 講談社

A 前の状況	B 行動	C 結果
グループで合奏しているときに・・・	リコーダーを投げたら・・・	先生に注意され、演奏しなくてよくなった。



逃避行動

望んでいた状況の実現【誤学習】

行動の裏にある考えられる背景

- リコーダーの演奏が苦手（不器用）
- リコーダーの音が苦手（聴覚過敏）
- 学習内容の理解の不十分さ



やった！！
とりあえず、演奏しなくてよくなった。

正しい児童理解について

「発達障害の子どもを伸ばす魔法の言葉かけ」 講談社

A 前の状況	B 行動	C 結果
グループで合奏しているときに・・・	リコーダーを投げたら・・・	先生に注意され、演奏しなくてよくなった。



A 前の状況	B 行動	C 結果
※合奏する上での適切な支援	※適切な行動	※適切な行動



正しい児童理解について

「発達障害の子どもを伸ばす魔法の言葉かけ」 講談社

A 前の状況	B 行動	C 結果
グループで合奏しているときに・・・	リコーダーを投げたら・・・	先生に注意され、演奏しなくてよくなった。



A 前の状況	B 行動	C 結果
	※適切な行動 ・みんなと一緒に合奏できた。	



正しい児童生徒理解について

(2) 好ましい行動には

- 当たり前に行えることや、ほんの些細な行動でもほめる。
- 児童生徒のできている行動を具体的に言語化する。
- メッセージはシンプルにする。
- 生徒に近付いて、目線を合わせてほめる。



正しい児童生徒理解について

(3) 肯定的なかかわり

- 「発表している友達をしっかりと見ていますね。」
- 「先生の話を聞く時の姿勢がいいですね。」
- 「はっきりした声で、発表できましたね。」
- 「ありがとうって言われて、先生もうれしいな。」
- 「自分から分らない所を聞くことができましたね。」
- 「すぐに教科書とノートを出しましたね。」



できるだけ、
言葉(数字等)を
使って具体的に
ほめましょう。

正しい児童生徒理解について

(3) 肯定的なかかわり

- 「特徴をとらえて、ぬることができたね。」
- 「難しい問題にチャレンジしたね。」
- 「今日は、5枚も、プリントできたね。」
- 「悔しいけど、よく耐えて最後までやったね。」
- 「今回は20分間、集中できたね。すごいね。」
- 「やさしい言葉遣いや友達思いができるようになったね。先生も気持ちがいいよ。」



できるだけ、
言葉(数字等)を
使って具体的に
ほめましょう。

ふちテクニックの紹介



ぷちテク

指示の

- ① シンプル化
- ② クリア化
- ③ ビジュアル化

作業中の指示や複数の指示はしない

① 注目を促し、短く、具体的に

② 指示は1つ1つ、簡潔に

③ 視覚情報(板書、見本の提示、示範等)を加えて

ノートを書いたらP.78の問題④をして終わったら、ドリルの12番ね。

シンプル 簡潔に

クリア 明瞭に

ビジュアル 視覚的に

ぷちテク

自己解決

どうして「Why」ではなく、どうする「How」

<p>① 冷静に聴く</p> <ul style="list-style-type: none"> ・じっくり聴く 「何があった? ゆっくり話してくれる」 	<p>② 気づきを促す</p> <ul style="list-style-type: none"> 「あなたにとっていいことかな?」 「どんな約束だった?」
<p>③ 一緒に考える</p> <ul style="list-style-type: none"> ・どうすればよかったか できることを提案し、選択させる(自己決定) 	<p>④ 褒めてのばす</p> <ul style="list-style-type: none"> 「よく〇〇できたね」 「今度は〇〇しようね」

新潟大学 長澤研究室「発達障害への対応」

ぷちテク

タイムアウト

- ・別室に移動(活動から離す)
- ・一時的に権利を制限する教育的な罰
- ・クールダウン、約束確認後、速やかに復帰

手続き

<p>① 警告→別室移動</p> <p>② 話を聞き、クールダウン</p> <p>③ 戻るかどうかを本人に決めさせる</p> <p>④ 教室では自然に受け入れる</p>	<p>説教なしで話を聴く</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「何が嫌だった?」 ・「〇〇だったんだね」(寄り添う) ・「どうする、戻る?」(自己決定)
--	---

※組織的な対応、安全確保、マニュアルの作成

ぷちテク

リスニングスキル

- ・顔を見ながら穏やかに話す
- ※「～を教えてね」と質問して、たくさんのお話を話してもらう。

マイクロカウンセリング技法

- ・相手よりもゆっくり、トーンを落として話す
- ・返事もしゃべり終わってから、わずかに遅れるくらいのタイミング



※話せば話すことで、頭の中を整理することができ、怒りや不安を処理することにもつながる。

おわりに

これまでの経験から…

自尊感情を高めてあげる

- ①「称賛」することの大切さ
- ②「承認」することの大切さ
- ③「受容」することの大切さ
- ④「感謝」することの大切さ